



元氣とタイムリーな情報を提供する

五十嵐レポート

発行:「町コン」五十嵐 勉 平成24年11月12日 第588号「週刊五十嵐レポート」

アジアビジネス探索セミナー・ベトナムツアー

平成24年11月5日(月)から9日(金)早朝までアジアビジネス探索セミナー・ベトナムビジネスツアー(カンボジア含む)に行ってきた。今回でベトナムは6回目ですが、新たな発見がたくさんありました。

皆が異口同音で行っていたのは、「今までベトナムでは体験したことがないほどの不景気だ」と。昨年20%以上の消費者物価が上昇したことで金利を上げ、金融を引き締めました。消費者物価は落ち着いたものの、マンション価格が下落、不動産開発がストップし、銀行の不良債権が増えました。不動産で儲けた人たちが今では借金の返済に苦しんでいる話をよく聞くと、そのためか高級レストランや国境越えのカンボジアのカジノにいたベトナム人の姿が少なくなっています。まさに日本の90年代のバブル崩壊。但し、バブルに踊っていた人たちはほんの一部。GDPの成長率も6%台は維持できなくても5%前後に推移しています。

ベトナム現地にいる日系企業、特に製造業は、この景気低迷は恩恵を受けると。物価が上がらない、人件費が高騰しないということ。そして採用もしやすくなると。

初日に、ホーチミン日本商工会に訪問し、ベトナムの現状の講義を受けました。「カンボジア、ラオスより20年ほど進んでいる。しかし、シンガポール、タイ、マレーシアより20年遅れている。アセアン(東南アジア)ではちょうど真ん中に位置している。日本でのベトナムの情報と現地では大きなギャップがある。あくまでも外国。日本の感覚では失敗する。リスクはある。そのリスクを踏まえて、対応を考えて進出するならば勝機はある。日本がダメだからベトナムというのは危ない」

日本では何でも揃っています。ベトナムは揃っているものは少ない、カンボジアはさらに何もないうところ。リスクは大きい。リスクを冒さないと大きなリターンは得られない。まさにベンチャー精神がないと切り開くことができません。日本にはない戦場でした。タフな日本人たち(戦士)がいました。

ちょっと
気になる出来事

平成24年11月5日(月)～9日(金)早朝、アジアビジネス探索セミナー・ベトナムビジネスツアーに行ってきました。

恥ずかしい話ですが、初日に洗礼を受けました。

最近のホーチミンはスリなどがありますので、気をつけてくださいと現地通訳の人に言われたばかりなのに、夕食後、現地の友人である日本人と一緒に飲み屋に行く途中で、財布をスられてしまいました。

呼び込みのオパチャンがしつこくお店のパンフを私の目の前に見せて、断っても断っても、何度も私の前にやってきました。

そして友人の知っているお店に入るときに、腰に巻いていたボーチのチャックが開いていました。「まさか!」と思ったら財布がなくなっていました。気がつかないうちにやられてしまいました。

財布には数万円のお札だけ。いつもカード等は別にもっていたので、現金だけの損害ですみました。

初日だったおかげでその後は慎重に対応しました。これもネタの一つになりました。



一口メモ
成功の秘訣

命をかけていること

「自分はこの仕事に命をかけてやっているのかどうかと、これまで困難な問題に出くわすたびに自問自答してきました。そうすると、非常に煩惱の多いときに感じることは、命をかけるようなところがどうもなかったように思われるのです。それで、心を入れかえてその困難に向かっていきました。

そうすると、そこに勇気がわき、困難も困難とならず、新しい創意工夫も次々と起こってくるのです。そういう体験をたくさん持っています」

指導者は人より先に憂い、人よりも後に楽しむということではなければならない。人が遊んでいても自分は常に働いている。遊んでいるようでも頭は常に働いている。心はいつも自分の目標にある。そのような先憂の志がなければならない。

きっと芽が出る人の法則 江口克彦著(PHP研究所)

- 週刊五十嵐レポート 毎週月曜日発行 ● 月刊五十嵐レポートダイジェスト
- 町コンランチエスター経営戦略塾「会社成功塾」 毎週日曜日 午前10時～12時。
- 町コン・ランチエスター経営戦略セミナー 毎月東京開催

㈱五十嵐コンサルティングオフィス 〒133-0051東京都江戸川区北小岩6-21-5

03-3659-7703 Fax 03-3659-7077 tigaras@attglobal.net

